

株式会社名村造船所

ふるむらしんはし 古村新橋

[概要]

古村新橋は佐賀市三瀬村の国道 263 号と熊の川温泉で有名な佐賀市富士町上熊川の国道 323 号とを結ぶ道路である。一般県道松尾湯の原線の一部である。同路線は集落内を通り、周辺には小学校がある道路でありながら、1 車線で車道が狭小なうえに歩道が整備されていないため、一般車両の通行に支障があるだけでなく、児童の通学時においても非常に危険な状態だった。バイパス（歩道含む）が整備されることで、交通の円滑化に加え通学路の安全性向上等が期待されている。

発注者：佐賀県 佐賀土木事務所

工事名：道整交金第 0130275-003 号 松尾湯の原線(小副川工区)道路整備交付金工事(橋梁上部工)

引渡場所：佐賀県佐賀市富士町小副川

竣工：2020 年 1 月 7 日

[仕様]

橋長：34.400 m

幅員：11.000 m

鋼重：83.619 t

鋼種：SMA570W-H, SMA490BW, SM400AW, SS400

橋梁形式：鋼単純非合成钣桁橋

架設工法：トラッククレーン架設工法



竣工写真

[現地施工概要]

本橋は、嘉瀬川の支流である小副川に架かる橋梁である。小副川は平常時の水量は少ないものの、大雨が降ると一気に水嵩が増えて激流となる。その現場条件を踏まえて架設時の安全性を慎重に検討した結果、梅雨時期を避けた架設工程とし、架設工法はベントを使用せずに 1 主桁を全て地組立てして架設する一括架設工法とした。施工ヤードが狭く地組立てスペースの確保に課題があったが、隣接する通路も活用しながらスペースの確保を行った。架設後も度々大雨が降り、増水による影響が心配されたが、被害無く完了することができた。(写真 1, 2, 3, 4, 5, 6)



写真 1 架設状況



写真 2 架設完了



写真3 床板の型枠・鉄筋施工完了



写真4 床版打設



写真5 舗装施工



写真6 増水時状況

[特記]

2019年12月5日に佐賀市立富士小学校全校生徒89名を現場に招待し橋名板披露、床版お絵かき大会を開催しました。5人に書いてもらった橋名板を全校生徒の前でお披露目し、佐賀県初の床版お絵かき大会では各学年パルーンの中に似顔絵や好きな絵を書き入れ楽しんでいただきました。

描いた絵は舗装され見えなくなりましたが、思い出とともに残り続けます。大きい真っ白なキャンバスに戸惑いながらも、カラフルで小学生らしい絵が完成しました。

